



成果指標				
成果指標	決算額÷予算額=執行率(0.95以下を目標とする)			
指標設定の考え方	予算の執行率でコスト縮減が図られているか検討する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0.95	0.95	0	0
実 績	0.82	0.77	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	2	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	生活道路として市民生活に密着した市道の拡幅改良等の一般事務経費である。事業活動の実績においては、前年度と比較して経費を削減することができた。費目上は限られたものではあるが、今後も引き続き経費縮減に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	担当責任者が記載のとおり			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題